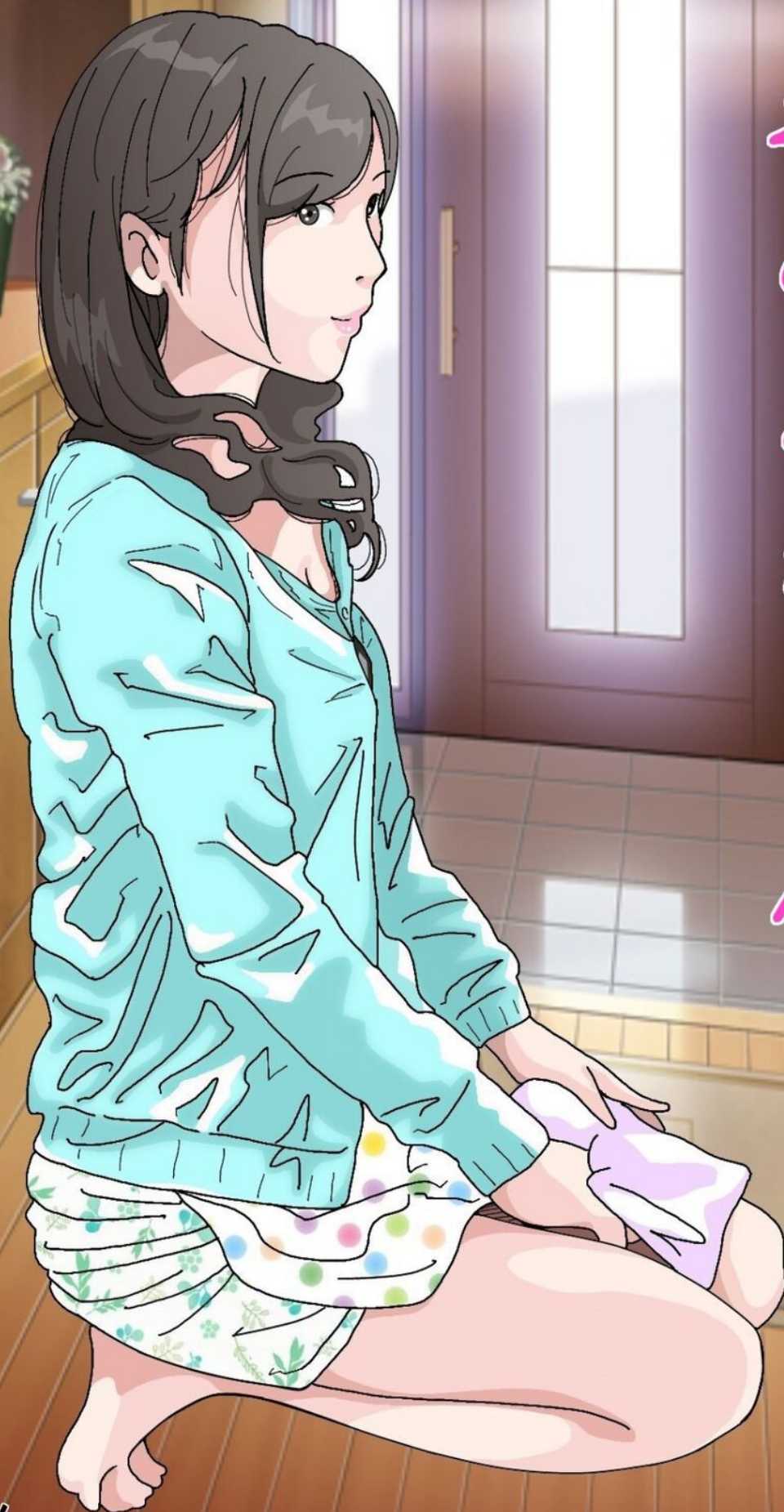


友達のお母さん。









……今日、僕はドキドキしている。  
何故ならば友達の家にお見舞いに行きからだ……。  
裕君は交通事故にあって、  
暫く歩けない身体になってしまった。  
でも、僕がドキドキしてるのは  
友達の裕君のせいじゃない……。



浩司君。

わざわざお見舞いに来てくれたのね、  
何時もありがと。





こんにちは。

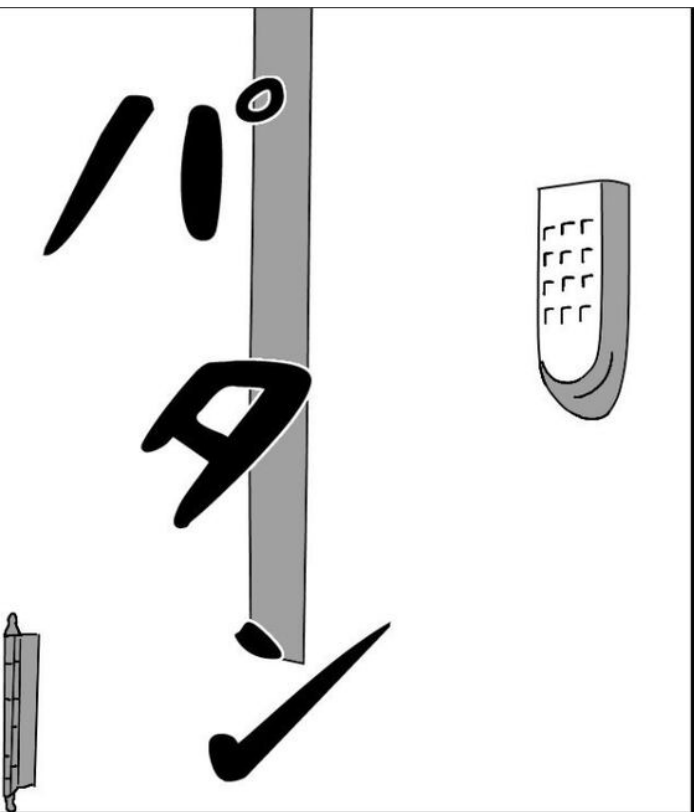
…ん？

…そう、僕がドキドキしてるのは、  
裕君のママ彩さんが奇麗で  
理想の女性だからだ……。

どうしたの？  
中へ上がって。

……あ、はい。  
お邪魔します。





裕も部屋に  
籠りっぱなし  
だから喜ぶわ。

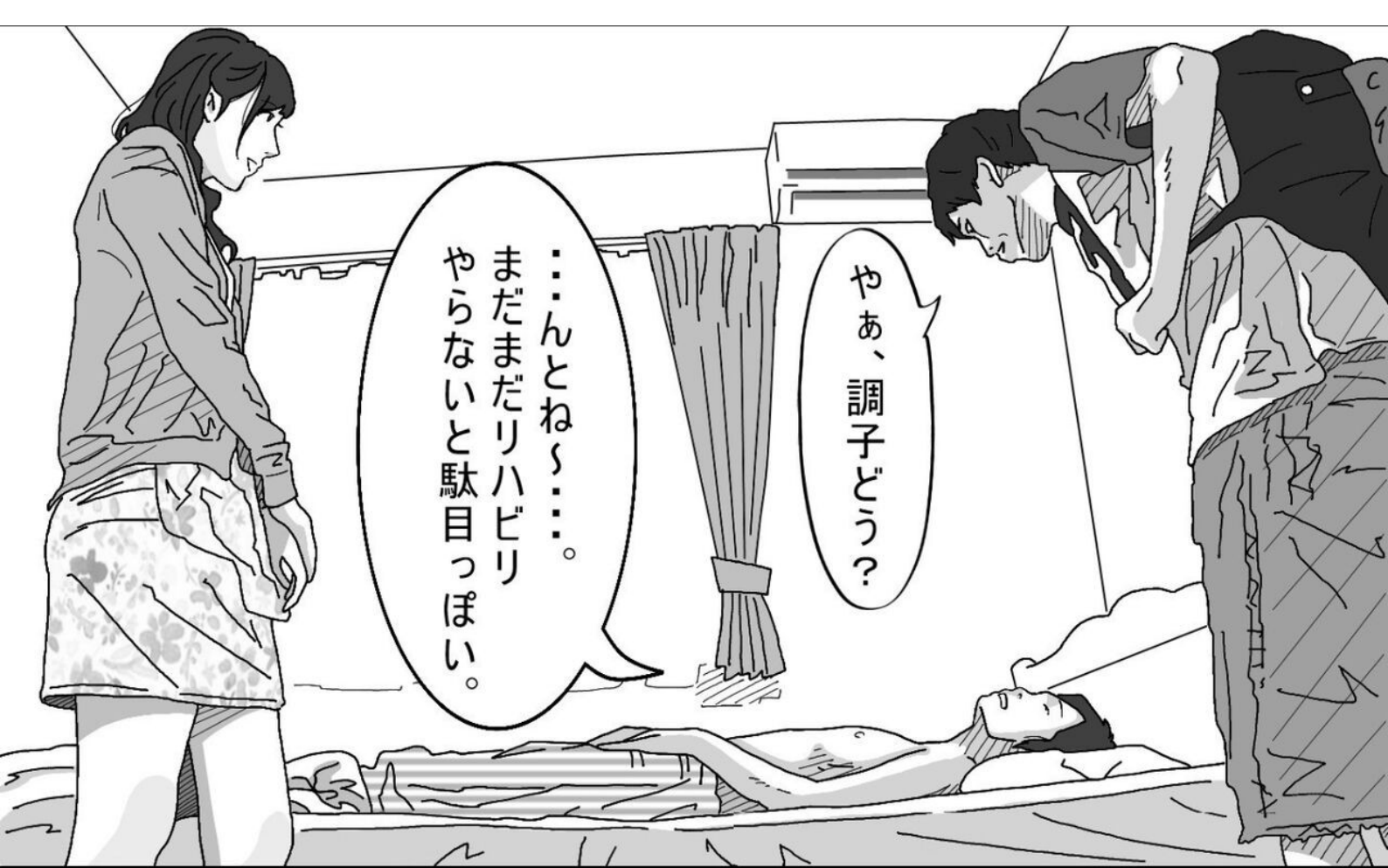
スッ



キ

ー

...





ほら、綺麗に身体を拭いて  
清潔なおしておかないと  
女の子に嫌われちゃう  
からね。

うん。

ふき  
ふき  
ふき



沢山、汗かいて  
たもんね。



気持ちいい。

ふう…



大丈夫、頑張って  
回復すれば歩ける  
ようになるからね。



早く外で遊べる  
ようになるって  
良いね。

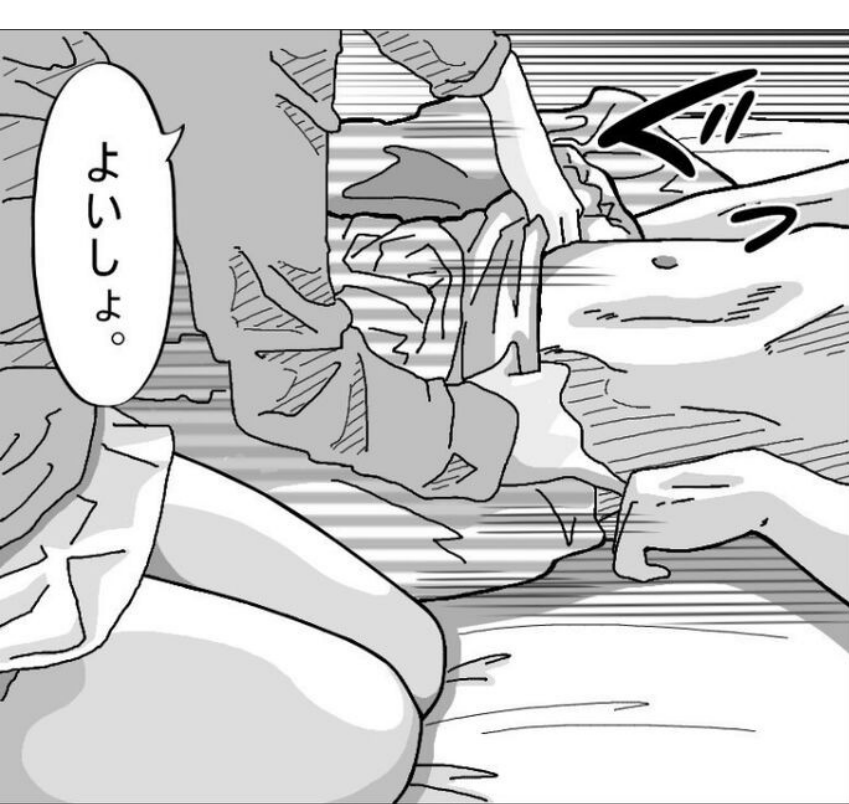
そうだね。



父さんがあ、あと半年したら  
帰ってくるからそれまでには  
歩けるようになるんだあ。

ウフフ、そうですね。  
頑張ろうね。











なあに？

ん？



あの…

…僕！



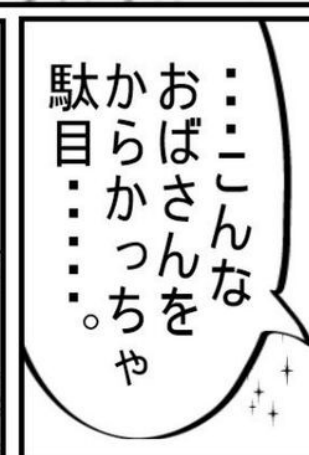
おばさんの  
…事が…

…す、好き  
なんです…!!



でも僕！

…本当に…、  
おばさんの事が  
好きなんです！



…こんな  
おばさんを  
からかっちゃ  
駄目…。

クス



でも……おばさん  
結婚してるのよ。  
……でもその気持ち  
すっごく嬉しい。

浩司君にはもっと  
素敵な相応しい人が  
現れるから。

ズ  
ー  
ン

……じゃあ……僕、  
帰ります……。

また遊びに  
来てね。

ズ  
ズ  
ズ……ズ  
ズ  
ズ……

……何だよ、僕は本気で  
言ったのに……  
僕が子供だからって……  
僕の気持ちがおばさんに  
全く届いてない……!!

ど  
く  
ん

……この時、僕の中で  
何かが壊れた……。

何かが……。

STORE'S



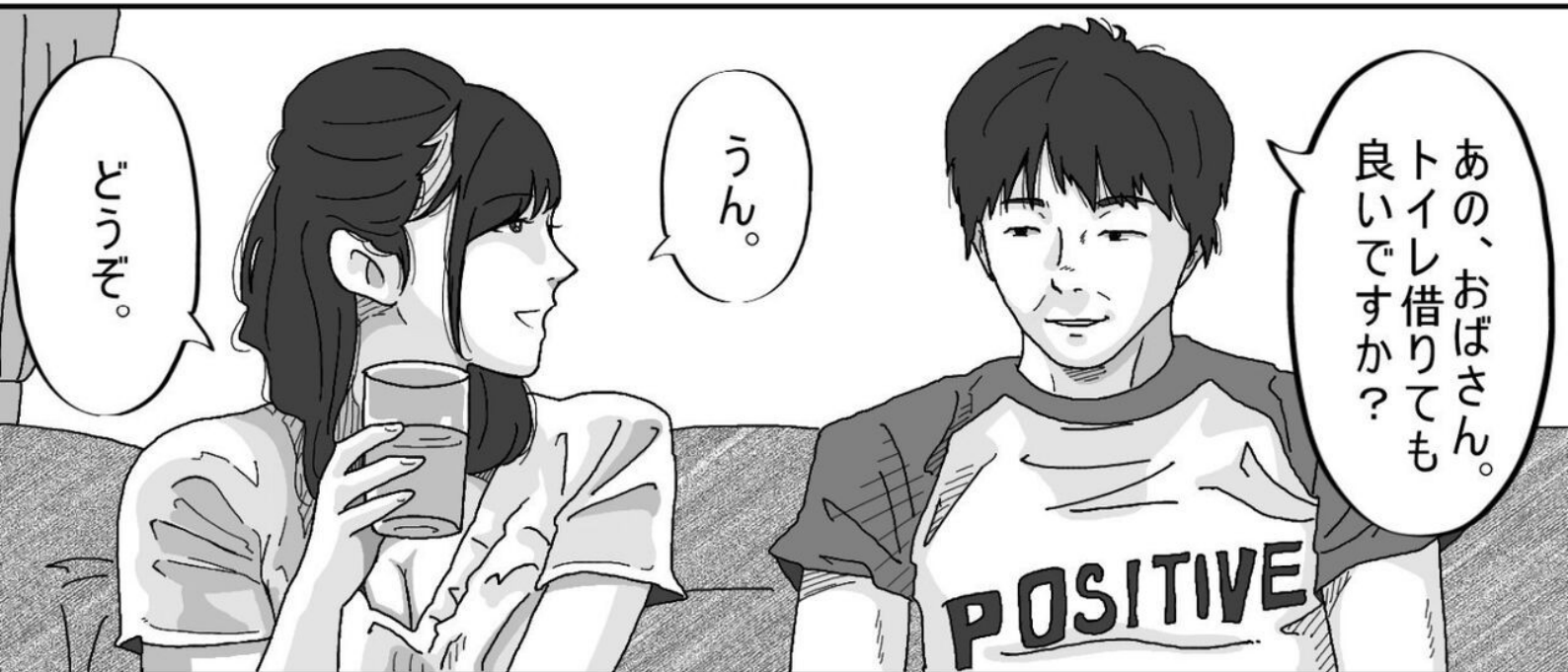














えっ……？  
急にどうしたのかしら、  
頭がフラフラしてきたわ……。

……それに身体中が  
火照って凄く熱い……。

くらっ



カチヤ

……あっ

はぁ……

はぁ……





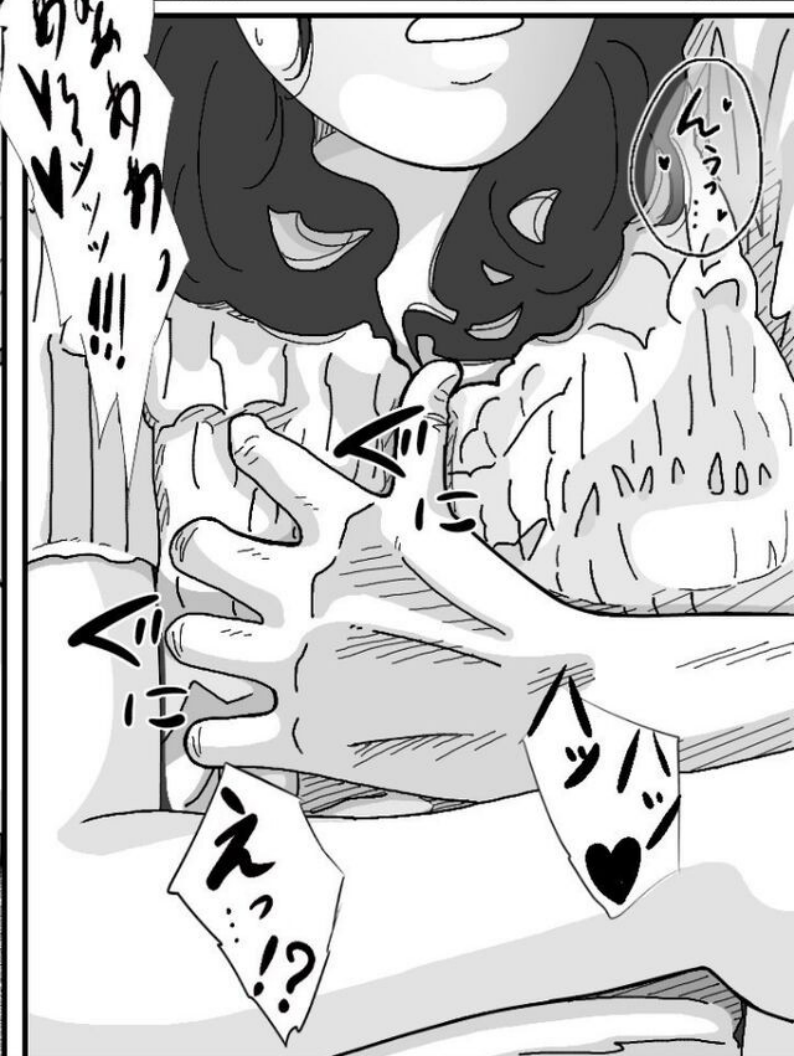
















……う言う事、駄目よ……

おばさんの様子が  
おかしいからあ……



変な声、  
出てるよ？

……何するの？

はぁ  
はぁ



ああ  
ああ

ギ

ユウウ

んっ

ふん！

























…何か言ったあ？



スベスベ  
だあ…



…お股広げて  
見せてください。





































オマンコに  
入れて……  
下さい……  
……自分で尻を  
広げて……



オマンコに  
入れて……  
欲しい……

……このチンポ、  
どうして欲しい？

オマンコに  
入れて下さい  
だろお……？



……私の  
オマンコに  
おチンポを  
入れて  
ください。

……はい、もう一度  
ちゃんとお願いして。

はい、良く  
出来ましたあ。

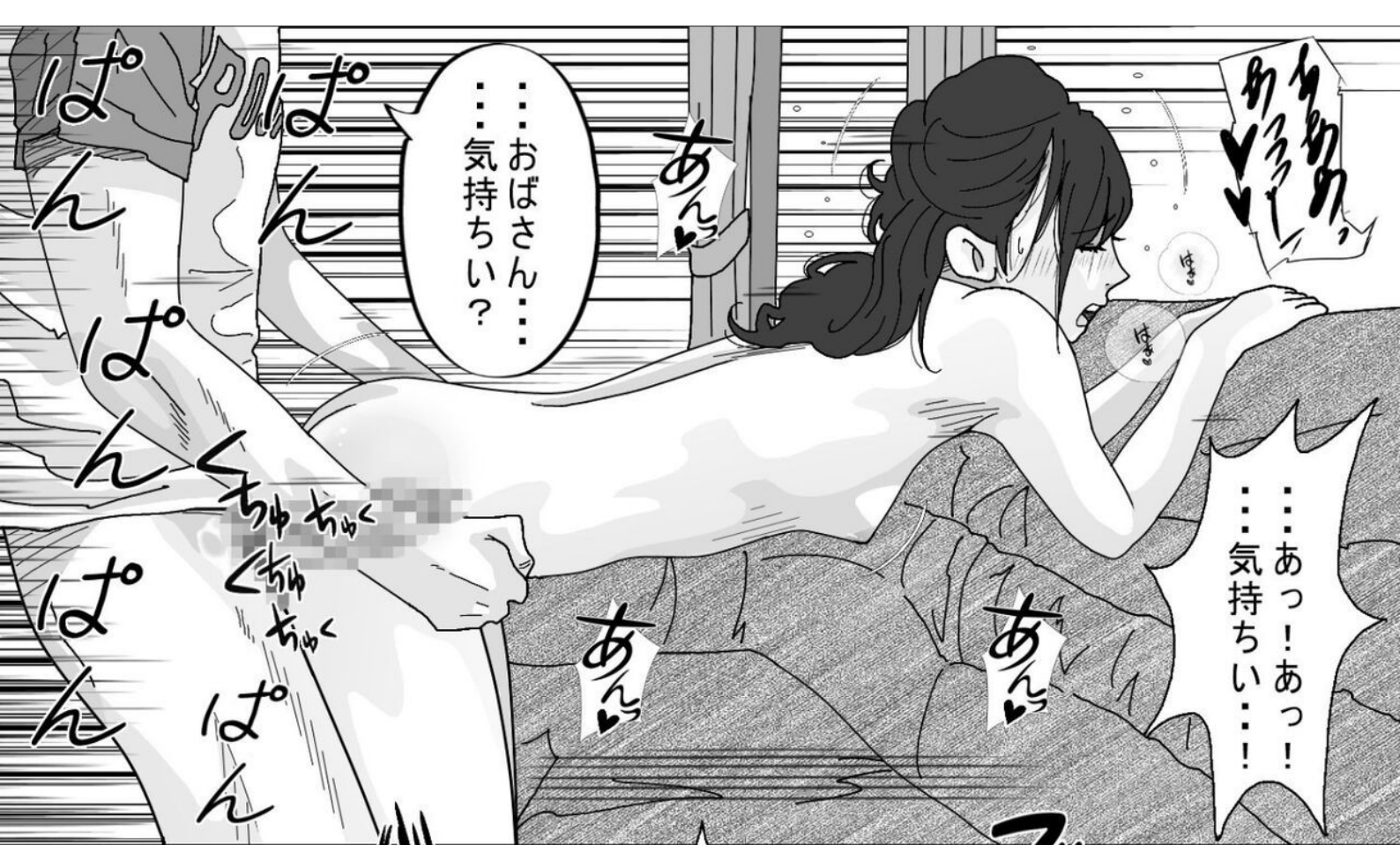


ずぶぶぶら

んっ♡  
うー……♡

あゝあゝ  
あゝ♡♡♡















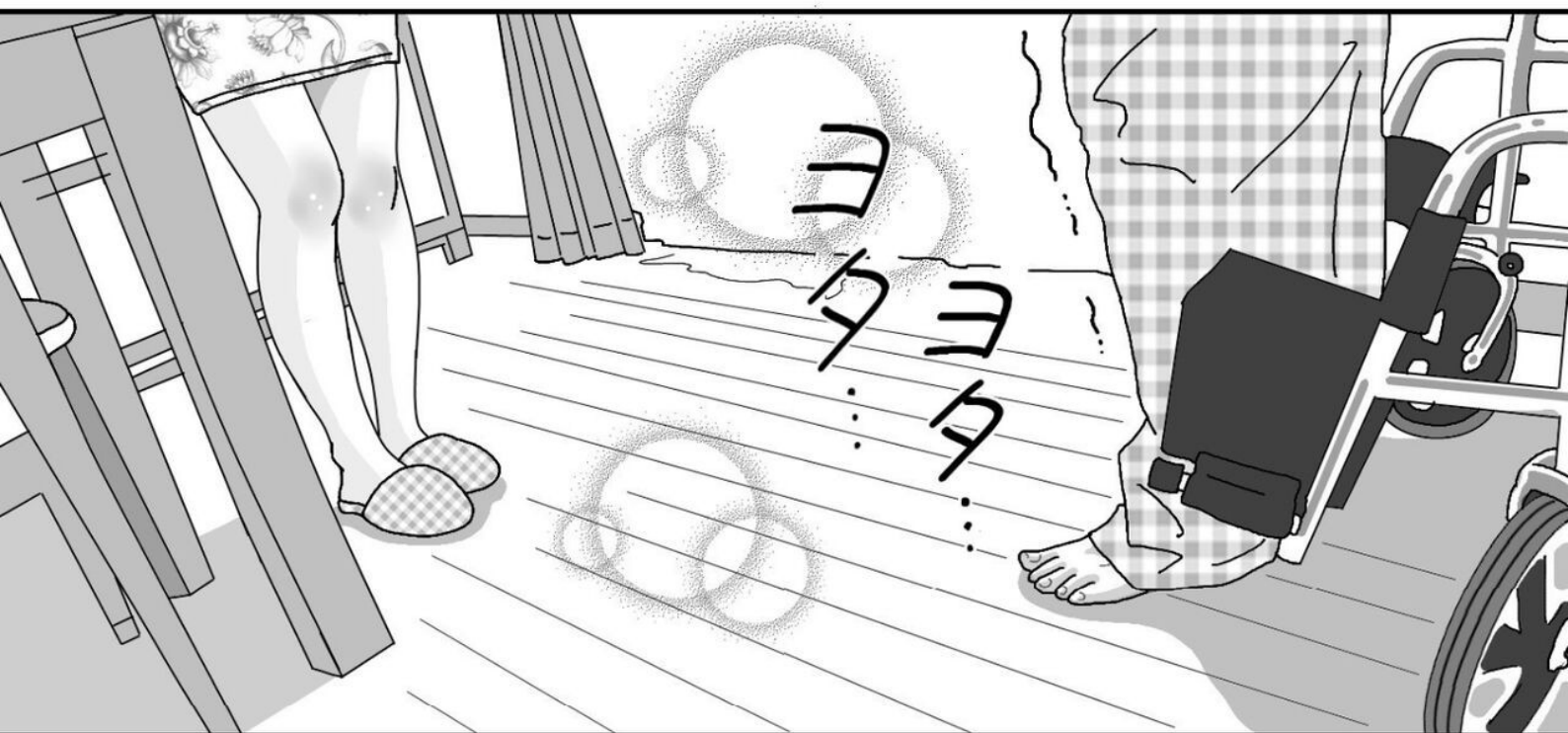








# 一カ月後...







今日はリハビリ  
頑張ってるね。

ほら…、  
頑張って。

ね。



…うん  
どうぞ。

…あつ、おばさん  
トイレ借りても  
良いかな？

あつ！、…浩司君  
来てくれてたんだ？



…頑張るよ。



ママ、ちよっと  
洗濯物取り込んで  
くるから裕君  
一人でリハビリ  
出来るかな？

うん。















すぐ隣の部屋に  
裕君居るのに、  
尻の穴舐めさせ  
られてどんな  
気持ち……？



……尻の穴舐めてる  
だけで、興奮する  
んでしょ……？



手が空いてる  
でしょ……？  
先っぽ握って  
しごいて……



あああ……気持ち良い……



































。。。。。。そう、浩二君と過ちを犯してしまってから  
一カ月。。。。。。。頻繁に家に訪れては、

私を相手にセックスしたり口内発射で  
精子を飲ませるようになっていたのです。

。。。。。。初めは嫌だったゴックンも何時しか慣れ。

精子の味が段々好きになり、浩二君のチンポコにも  
愛情を感じるようになって来たのでした。。。。。。。



はあ・・・はあ・・・



...だから...  
来てくれたら  
いっぱいエッチ  
出来るよ...

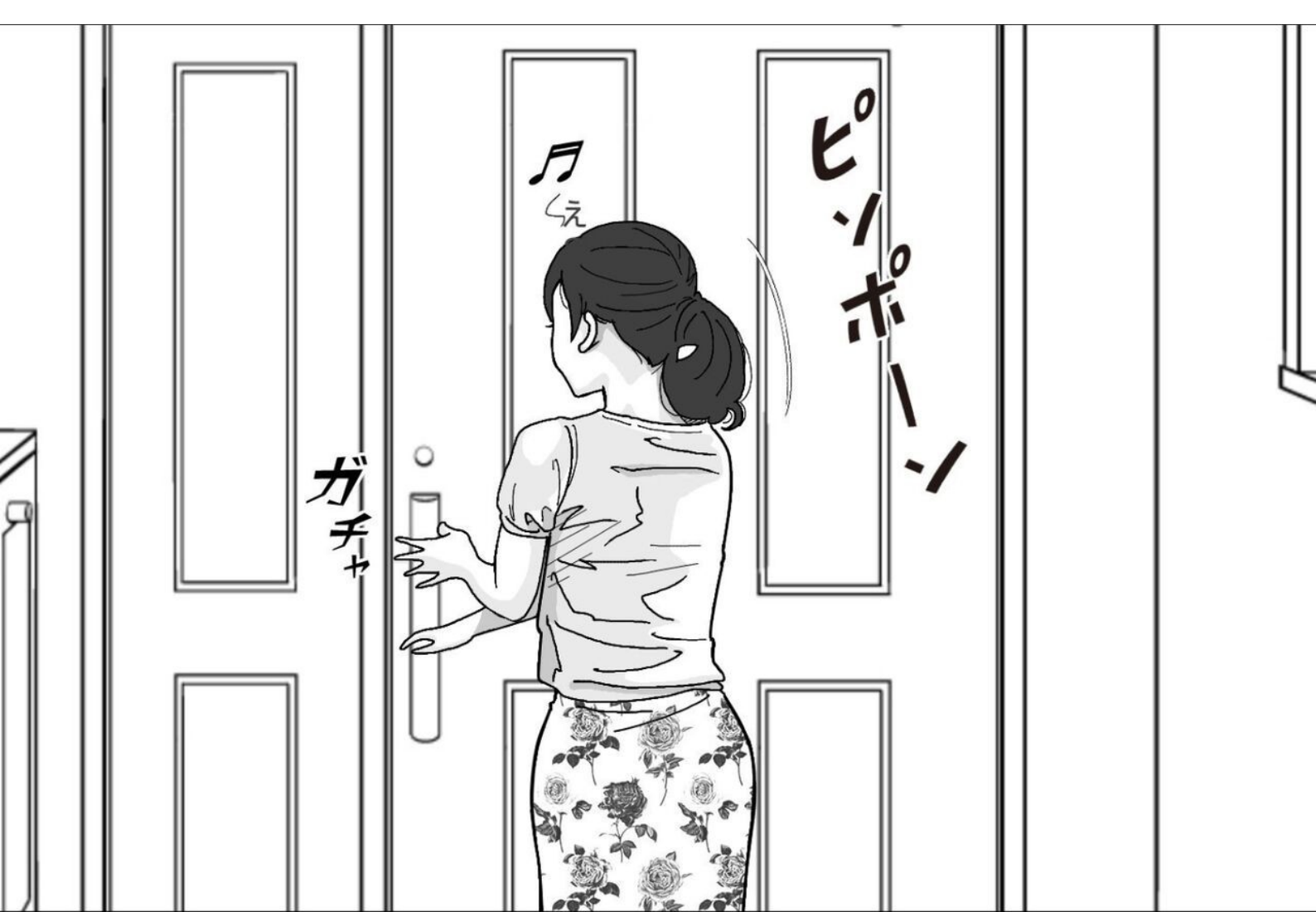






浩二君のおじさん。

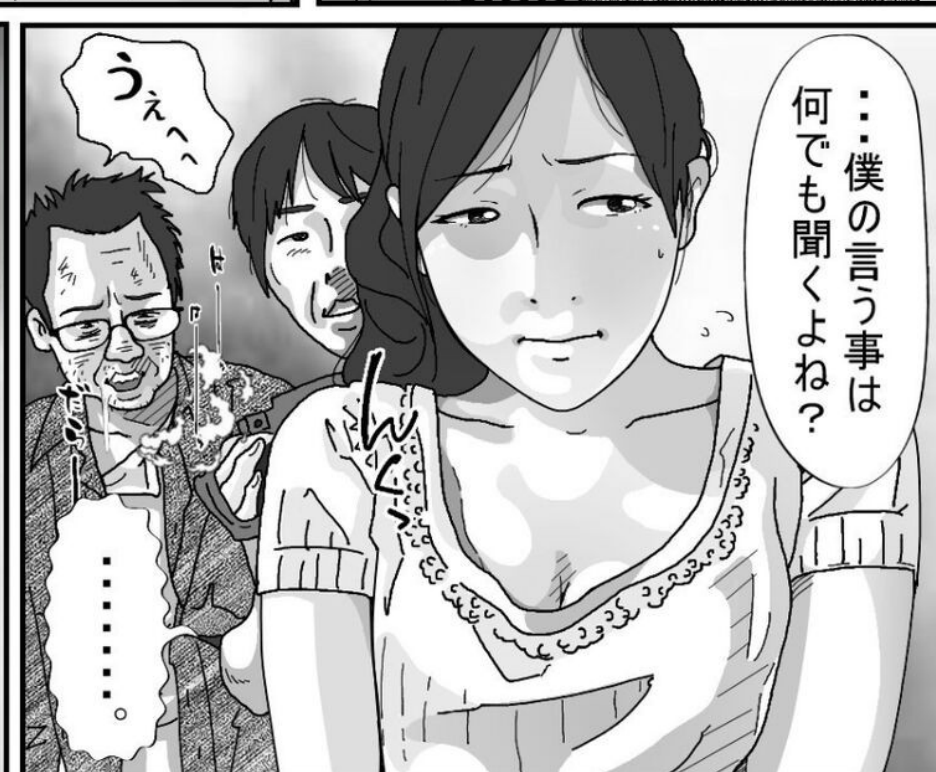








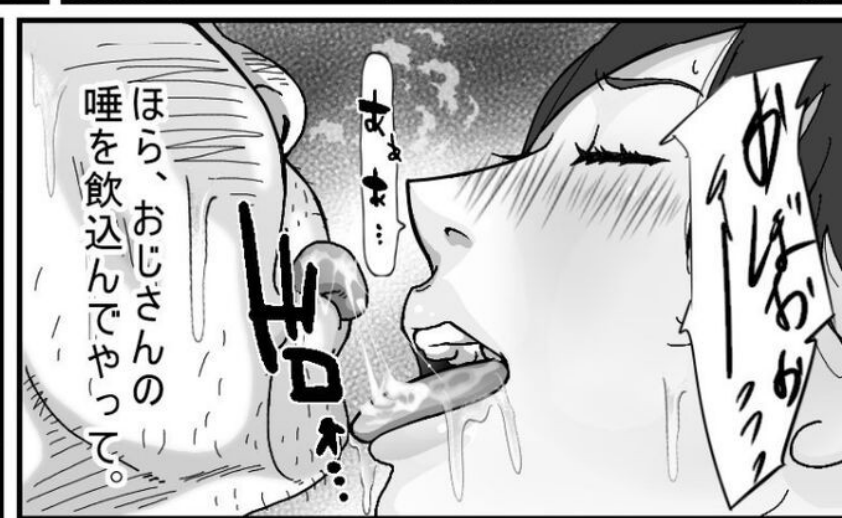












































今日はこの肉便器マシコに  
中出しして良いからね...

おじさんザーメンまだ  
タツプリ溜まって  
るよね?



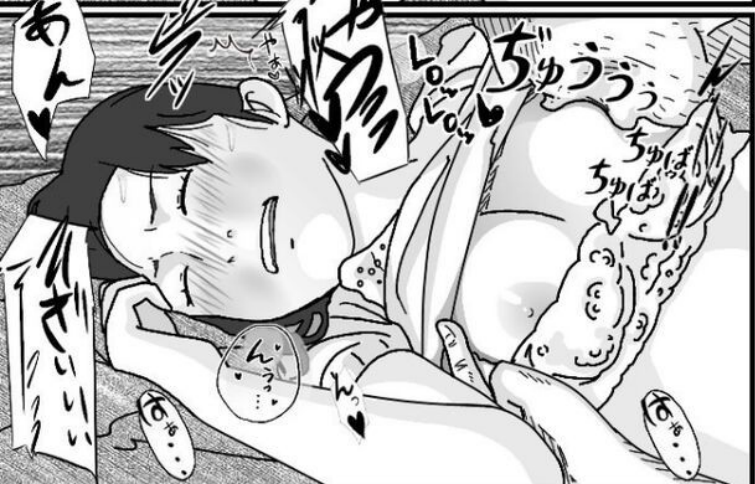
あぁあぁ!!

プルン



あぁ

ぐに



あぁ

ちゅ



ほら、旦那に向かって  
ちゅと教えてあげな。

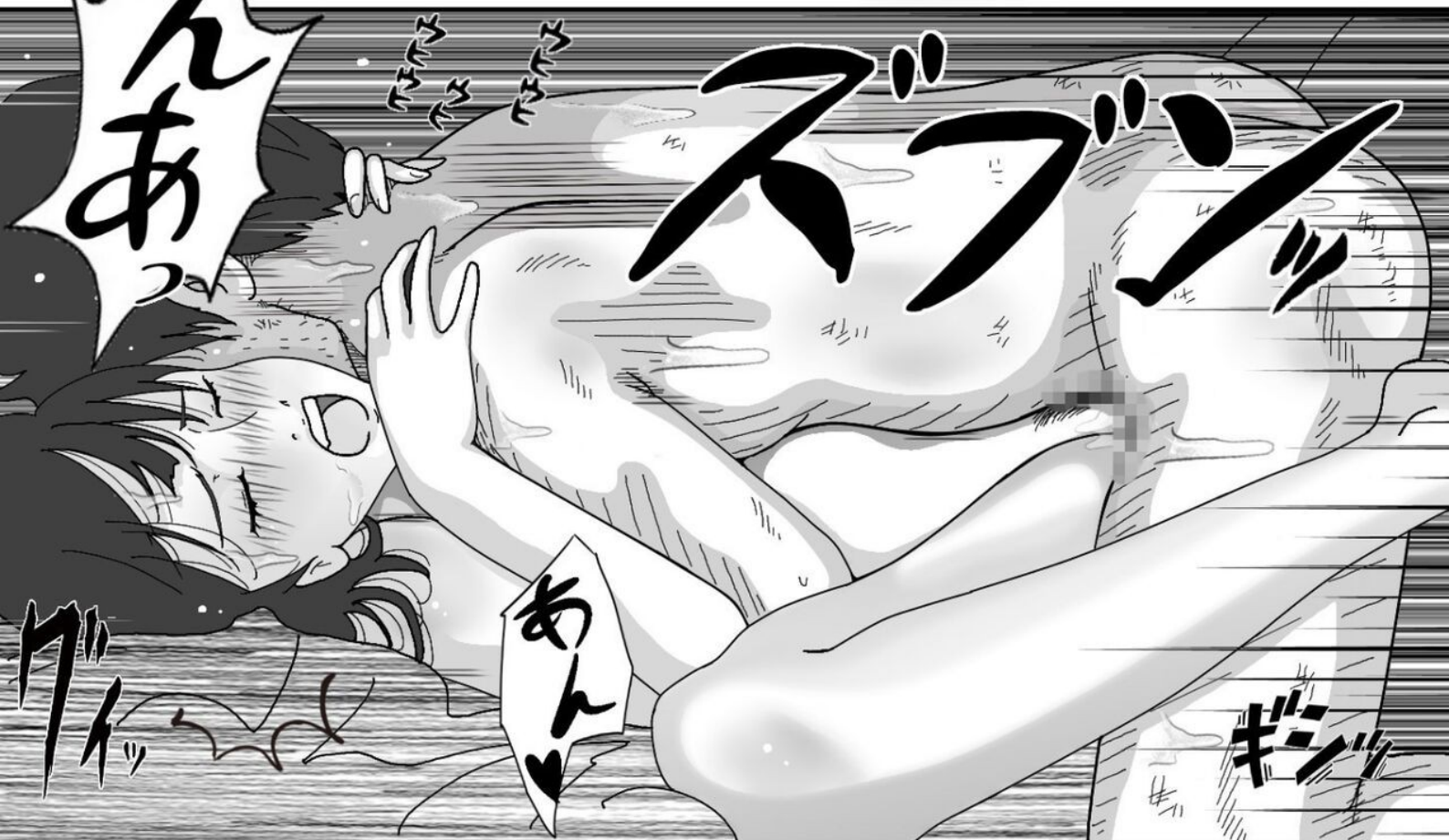
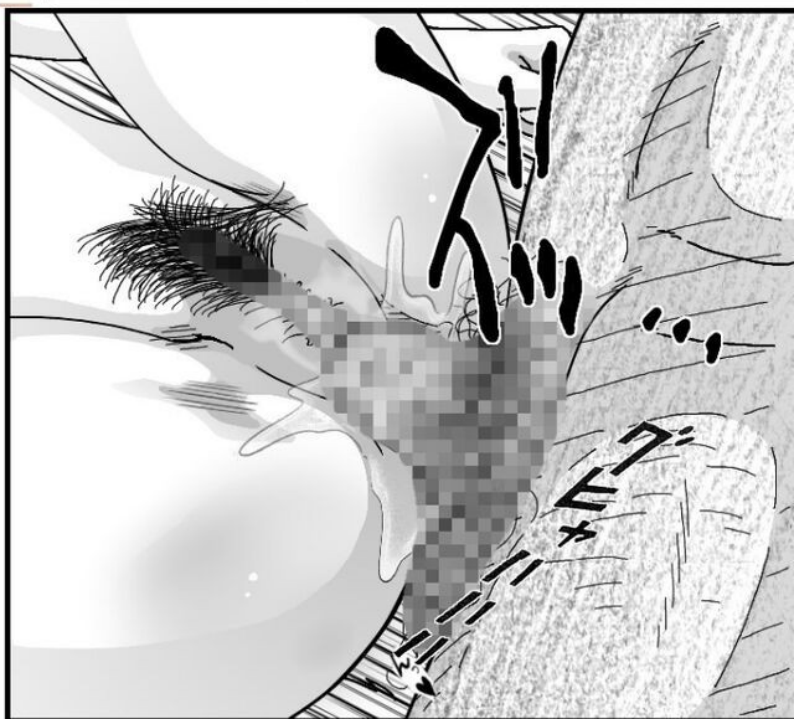


おじさん肉便器  
タツプリ舐めまわし  
ちゅって...



















# 浩司君と息子と3P



# 3か月後

いつもお見舞いにお見舞いに来てくれてありがとね。

でも、大分歩けるようになったね。

これもママのお陰かな。

あ、おばさんこんにちは。

浩二君来てたの？  
ごめんなさい……。  
お使いに行ってたから……。





















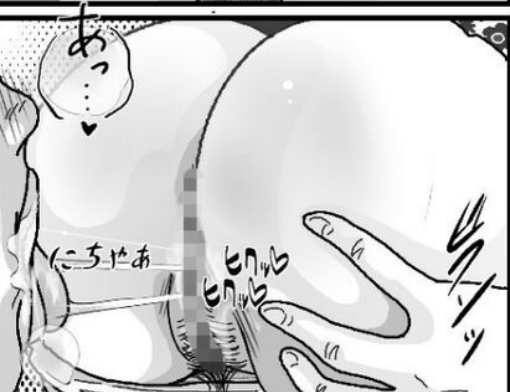
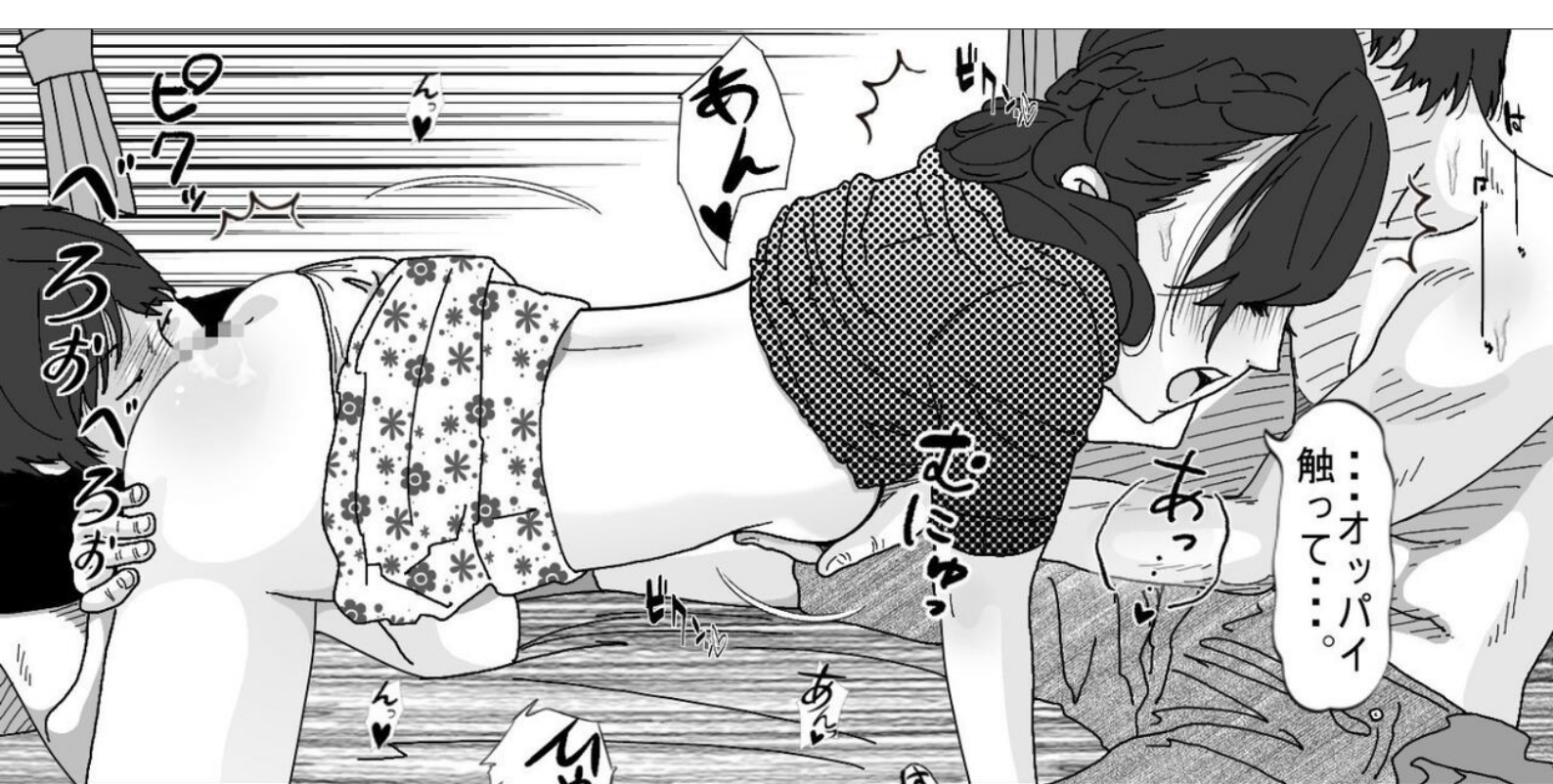
























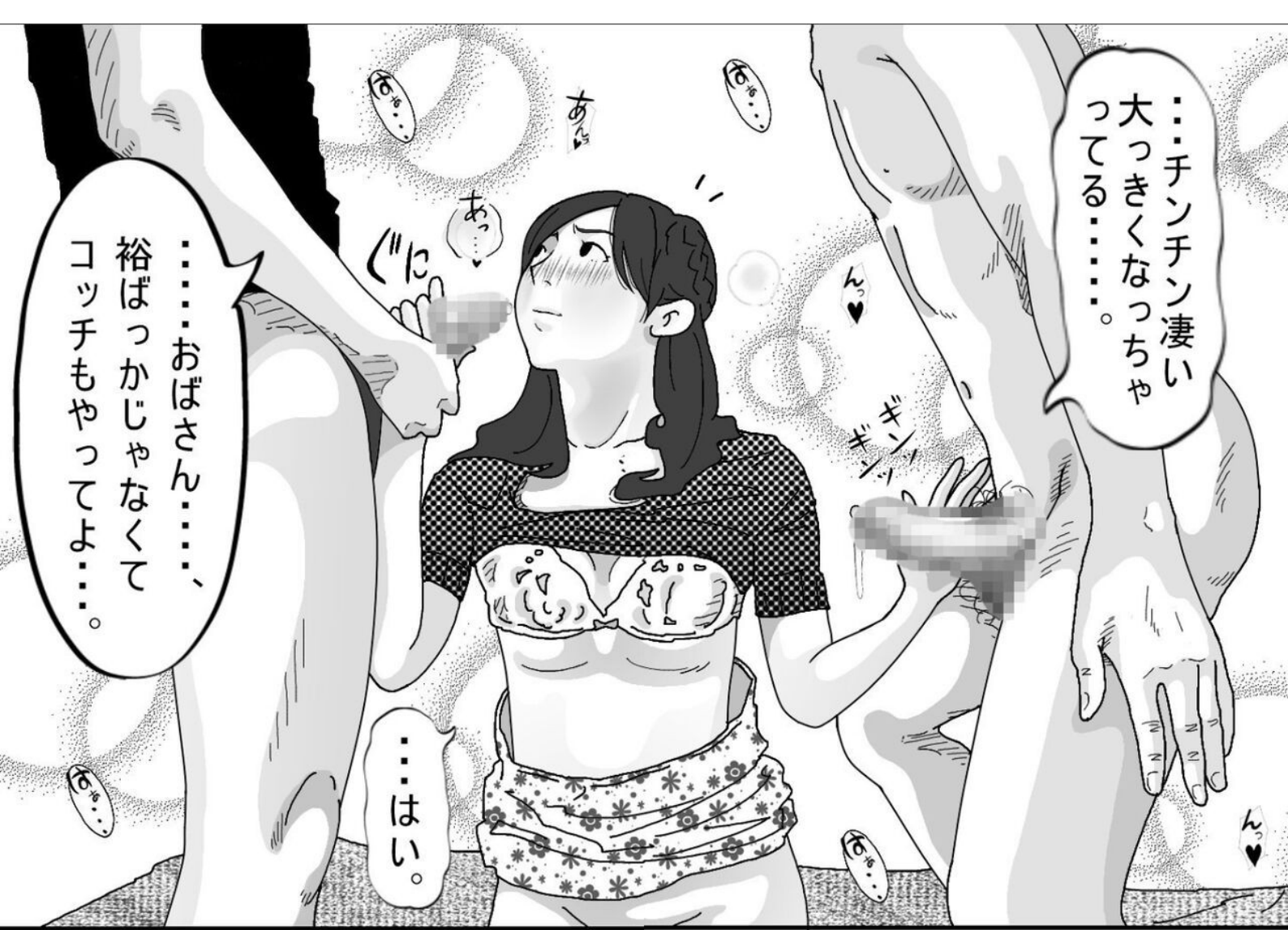




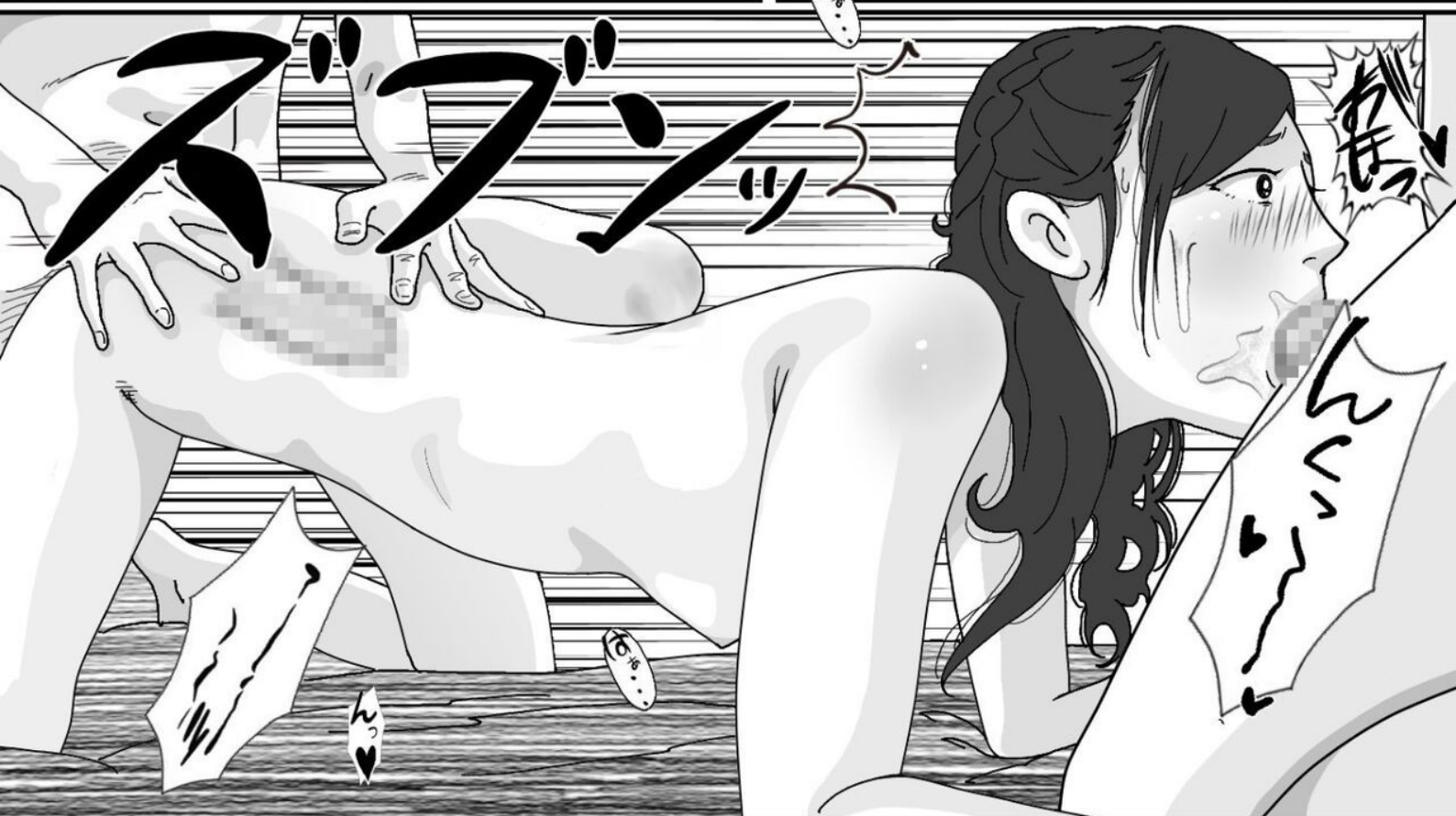








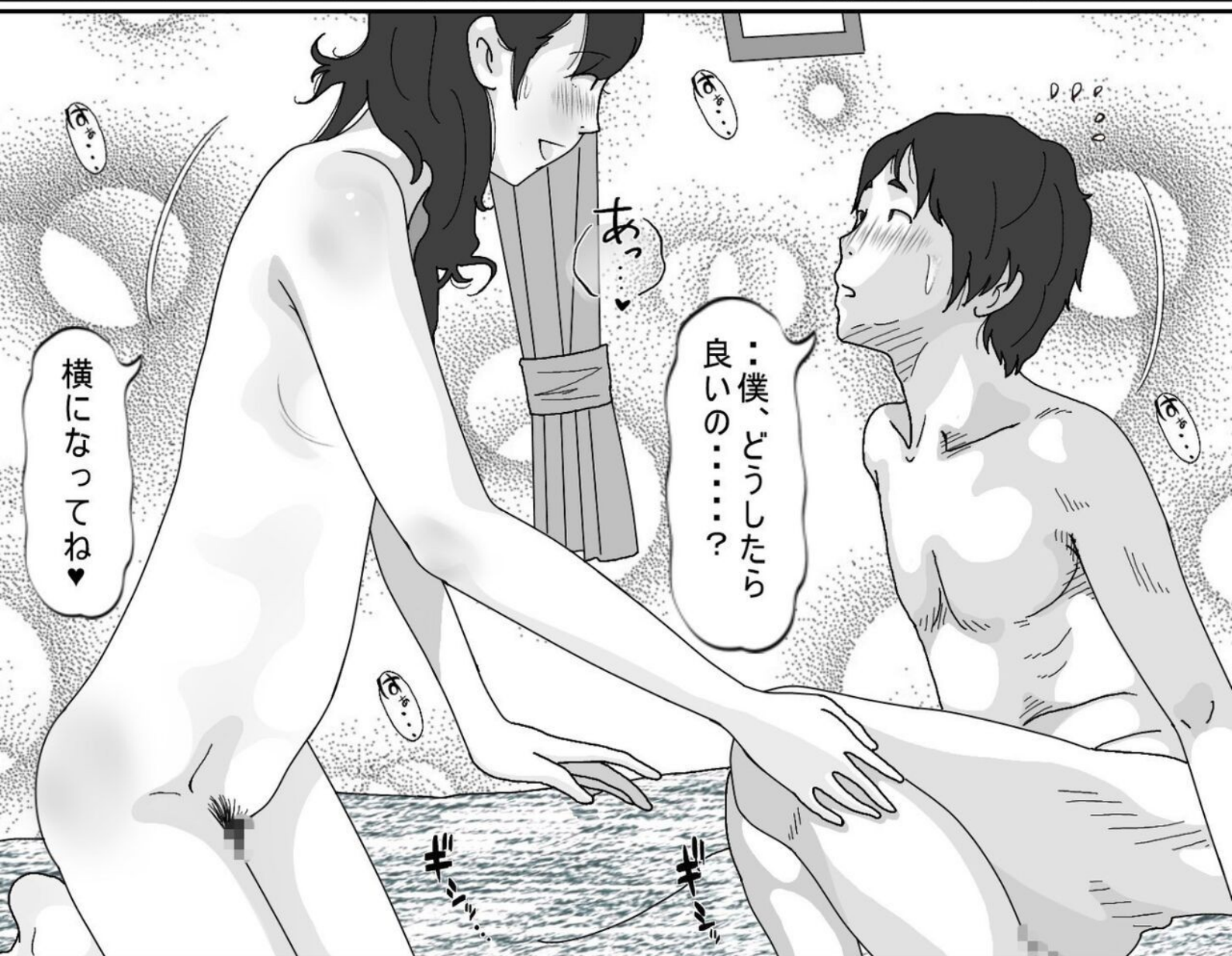
















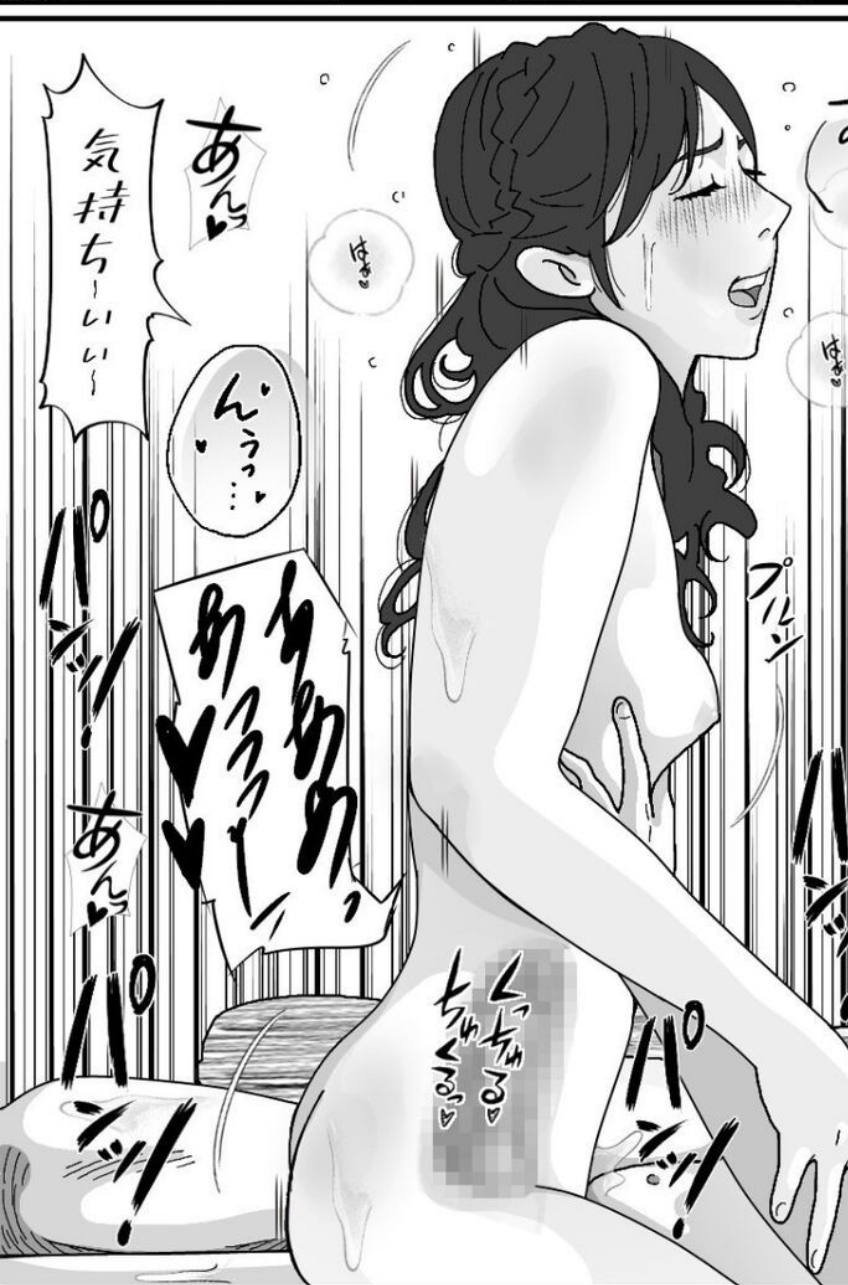




















…ママっ！  
何か出そう！

それで腰を沢山動かし  
てれば白いオシッコが  
出てくるからね……

お願いは？

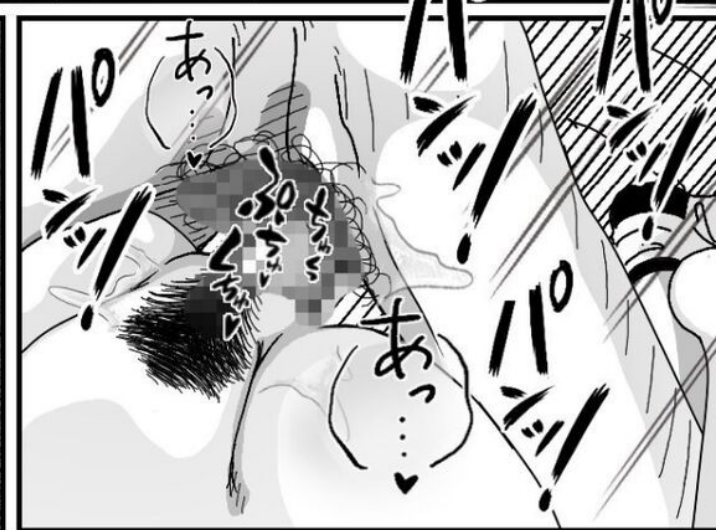
私の妊娠オマンコに  
沢山ザーメン  
出して下さい。

もっと欲しい  
です……

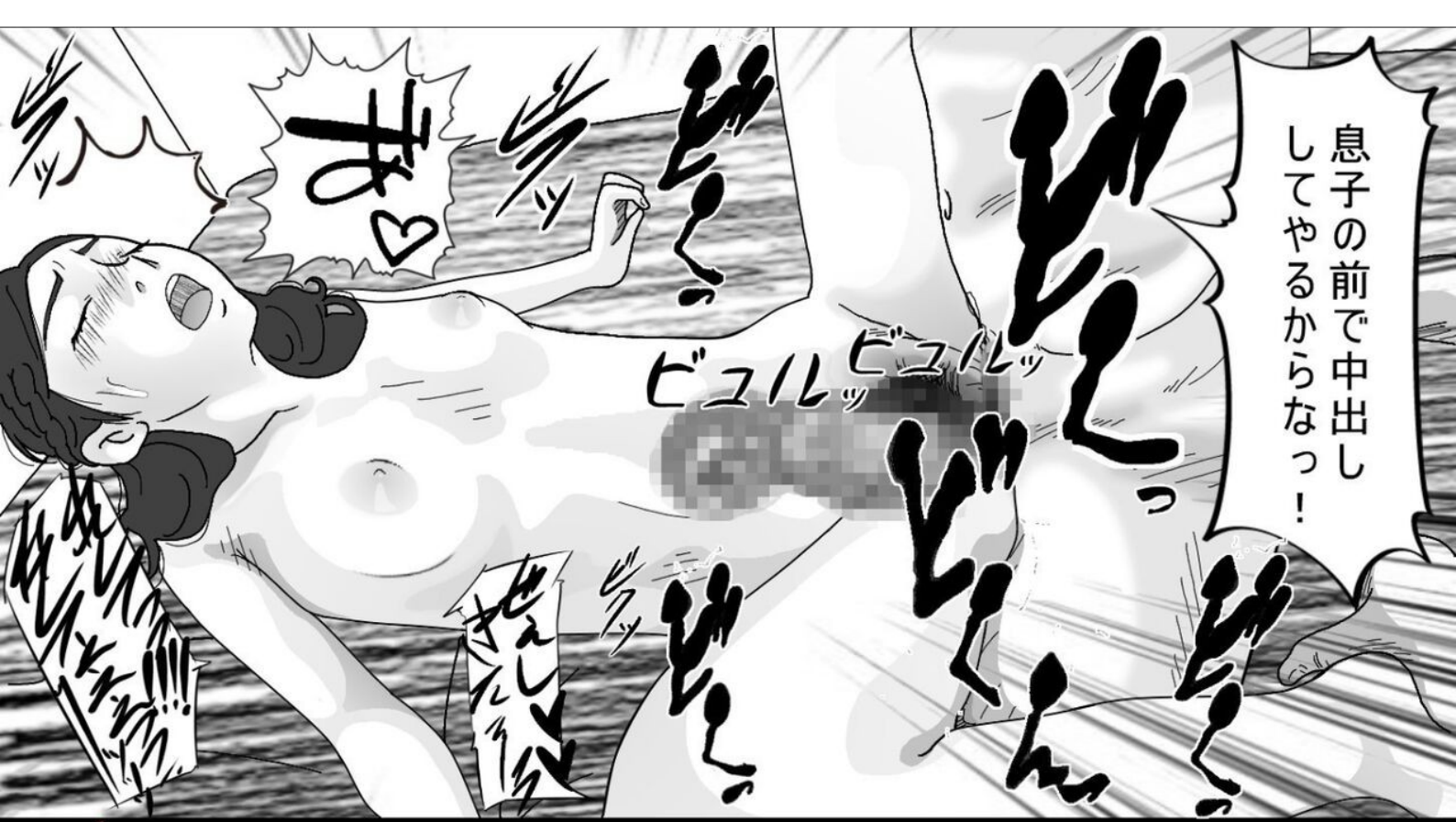
…自分の息子に  
イカされちゃって(笑)  
それでもまだ足りない  
んだろお？

よし。











。。。。私は母親失格です。

。。。。でも、もうこんな快樂を知ってしまったら

もう元には戻れないのです。。。。。

終わり